



平成 28 年 11 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 クリムゾン
(JASDAQ・コード番号：2776)

代表者名 代表取締役社長 川村 邦生
問合せ先 取締役兼管理部長 黒田 直樹
電 話 03-6659-5141

特別損失（資産除去債務履行差額）の発生及び
平成 29 年 1 月期業績予想(非連結)の修正に関するお知らせ

当社は、特別損失（資産除去債務履行差額）を計上する見込みとなりましたのでその概要をお知らせするとともに、平成 28 年 3 月 11 日に公表いたしました平成 29 年 1 月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失（資産除去債務履行差額）の内容及びその金額について

当第 3 四半期会計期間において、当社自社物流の移転に伴う現状回復費用等の発生について約 2,000 千円の資産除去債務履行差額を特別損失に計上いたします。

2. 業績予想の修正

(1) 平成 29 年 1 月期通期（非連結）（平成 28 年 2 月 1 日～平成 29 年 1 月 31 日）

(単位：百万円 %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	800	△4	△4	△6	円 銭 △0.84
今回修正予想 (B)	541	△137	△99	△102	△11.40
増 減 額 (B-A)	△259	△133	△95	△96	
増 減 率	△32.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 1 月期)	533	△246	△259	△262	円 銭 △36.57

(2) 業績予想の修正理由

当社は当初計画について、強みである春夏物商戦の企画提案力強化による売上拡大、昨年暖冬により販売不振に終わった冬季シーズンの対策として、幅を広げたアイテム提案、また、新規市場開拓として中国市場への取組みにより前期比で増収を見込み、計画達成に向け活動を行いました。

当第3四半期累計期間におきましては、厳しい消費マインドの中で推移いたしました。その中当社におきましては、ブランドごと及び得意先ごとに分類し、営業活動に努めましたが、秋物衣料について大手得意先に提案していた企画商品が頓挫いたしました。

また、当第4四半期についても、冬物軽衣料の企画商品群を中心に営業活動に努めておりますが、今年の暖冬の影響もあり冬物衣料の取扱いについて、大手得意先は慎重な姿勢であります。また、気温の低下が思ったより早まったこともあり、大手得意先が重衣料を中心とした展開に切り替えたことから、冬物軽衣料の取扱いが減少しており、春夏物衣料は概ね計画通り推移したものの、通期の売上高及び売上総利益を大きく落とす見込みとなりました。

ライセンス事業においては、当社が扱うアパレル類について、ブランド露出度・認知度は向上しているものの、アパレル以外の雑貨を扱うサブライセンサーまで連携が取れず結果として、売上高及び売上総利益を落とす見込みとなりました。

また、売上拡大や新たな収益の柱を目的に、海外市場（中国）開拓を計画しておりますが、日本と中国との商習慣の違い等から得意先選定等難航しており、当初の計画より遅れております。当期への売上高が見込まれないことから、売上高及び売上総利益を落とす見込みとなりました。

販売費及び一般管理費につきましては、計画より下回る見込みであるものの、売上総利益を落とした分までは補えず、結果、営業利益を落とすこととなりました。

また、最近の為替変動による影響及び上記1で記載しております特別損失の計上を考慮し経常利益及び当期純利益を修正いたしました。

以上の結果、前回発表予想を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

※本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上